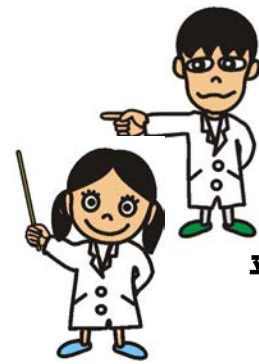


# 感染症に気をつけよう！



平成26年  
【7月号】

## 横浜市内の感染症流行状況

感染症	流行状況		説明	【 】は解説付き既刊号 ← クリック
腸管出血性 大腸菌感染症	やや流行	増加	例年夏にピークがあるため、今後には注意が必要です。下の解説を参考に、特徴を知って予防しましょう。	
麻しん	やや流行	横ばい	全国的に報告され、海外からの輸入例や職場・家庭内での感染がみられます。 <u>2回のワクチンで予防</u> しましょう。【5月号】	
伝染性紅斑 <small>こうはん</small>	流行	横ばい	リンゴ病とも呼ばれます。妊婦の感染では胎児に影響が出ることがあります。 <u>予防には手洗い</u> が大切です。【6月号】	
インフル エンザ	散発	横ばい	区によっては報告が増加しています。迅速診断キットの結果では、ほとんどがA型です。夏でも注意しましょう。【2月号】	

## 今、気をつけたい感染症 腸管出血性大腸菌感染症

O157(オーイチゴナ)などの病原性大腸菌に汚染された物を口にすることが原因です。焼肉による感染が、よく知られています。また、人から人への感染もみられ、家族内での感染や、保育施設等で集団感染が広がる原因になっています。

感染力が強く、通常 3~5 日の潜伏期間において腹痛と下痢が何回も起き、さらに、血便が出る場合があります。重症化すると溶血性尿毒症症候群(HUS)や脳症などになり、命に関わるケースもあります。特に、抵抗力の弱い乳幼児や高齢者では注意が必要です。



次の点を注意して予防しましょう！

- O157 は… 75℃ 1分以上で死滅するので、肉は中心部まで加熱！
- 牛等の腸に存在しているため… 新鮮な肉も汚染されるので、生肉に使った包丁・まな板は洗浄・消毒！ はしは食べる時のはしと区別！
- 野菜が原因とされる… 感染例もあるので、食品はよく洗浄！
- 人から人への感染を防ぐには… 正しい手洗い！
- 症状が出たら… 下痢止めを飲まずに、早目に受診！

